

プログラムへの参加について



- [定員のあるプログラム]の参加申し込みは、過去の大会では、当日会場内で受付～抽選にて実施しておりましたが、本大会では事前申し込み手続き時点での受付開始、先着順としておりますのでご注意ください。
- 2日目の大会企画「現場から学ぶ」に関してはゆとりを持って定員を設定しておりますが、上項の理由により事前申し込みをお勧めいたします。
- 定員に達していないプログラムにつきましては、大会当日に受付にて空き状況を掲示いたします。
- テーマセッション、基礎講座は定員・参加資格の制限は設けておりません。
- プログラム会場は変更されることがございます。
- 各プログラムの定員、参加資格は以下の通りです。

各プログラムの定員と参加資格

1日目 5月12日(土曜日) 午後

プログラム	定員	参加資格
<自主ワークショップ>		
I グループの多彩な力を体感する ～ダンス/ムーブメントセラピーを通して～	20名	なし
II “機能的サブグループ”で対人コミュニケーションを学ぶ	21名	なし
III 急性期病棟と地域におけるグループの実際と意義 ～急性期治療から地域生活支援への動向を踏まえて～	40名	なし
IV スクールカウンセラー×集団精神療法	50名	なし
V 子どものグループを考える －施設に入所している子どもとの集団精神療法の実践を通して治療構造を考える－	40名	なし
VI ゲシュタルト療法ワークショップ	20名	なし
VII 戦争体験のシェアリングに向けた試み	20名	会員限定
VIII こうえん	なし	なし
IX ナラティブなグループアプローチを体験する(その8) －体験グループにリフレクティングを応用する－	20名	なし
<事例検討>		
事例検討 I	60名	会員限定
<体験グループ>		
体験グループ I	15名	会員限定

2日目 5月13日(日曜日) 午前

プログラム	定員	参加資格
<大会企画「現場から学ぶ」>		
1 街づくりからみるグループ	50名	なし
2 “感情労働”の現場に棲む“グループな力”を活かそう！	50名	職場や学校などのグループダイナミクスに興味がある専門職・大学院生
3 学校で、そこに棲む“グループな力”を活用する ～学校集団力動、ことはじめ	40名	なし ※途中の入退室はご遠慮いただきます。 ※守秘義務について確認させていただきます。
4 集団の中で子ども達と関わりあう	50名	なし ※途中の入退室はご遠慮いただきます。 ※守秘義務について確認させていただきます。
5 刑務所の『薬物依存離脱指導』に「グループな力」を活かす	30名	なし ※途中の入退室はご遠慮いただきます。 ※守秘義務について確認させていただきます。
6 地域での支援現場に棲む“グループな力”を活用する	40名	なし ※途中の入退室はご遠慮いただきます。 ※守秘義務について確認させていただきます。
7 嗜癖・依存症の自助グループと治療・サポートグループ (の進め方)	50名	なし
<自主ワークショップ>		
X 東日本大震災等の相互支援グループ	30名	なし
XI 「不祥事」(あるいは「DrY問題」と呼ばれる出来事)と学会の“トラウマ”をめぐる－22年目のふり返り	なし	会員限定
<事例検討>		
事例検討 II	60名	会員限定
<体験グループ>		
体験グループ II	15名	なし